

思い出の図書室

2016年3月数学・数理解析専攻 修士課程 修了
株式会社 俄 システム開発 勝田美優

学生時代、講義の合間に図書室によく行っていました。

一番のお気に入り、理学部中央図書室¹。
資料を頼りに課題を進めるもよし。

他分野の図書を片手にリフレッシュするもよし。
新聞や雑誌で幅広く知見を広げるもよし。

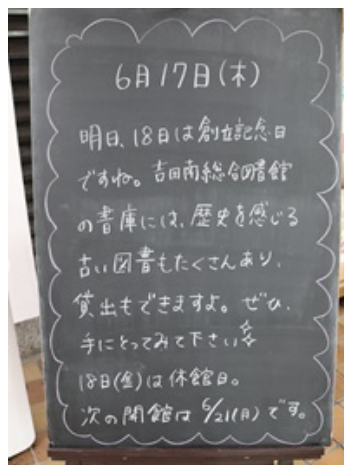
オススメの雑誌は、『National geographic』。
幅広いジャンルに触れることができ、良い刺激になりました。



院試対策の勉強もこちらの図書室でさせていただきました。

視聴覚資料もありましたね、『プラネットアース』を借りて、家で弟と鑑賞した日々も今では懐かしい思い出です。

ソファが多いのも特徴ですね。
地階は人の出入りが少なく、とても落ち着く空間でした。



吉田南総合図書館² も好きでした。
2014年に改称されてからも、ずっと人環図書館って呼んでいました。
娯楽要素の強い資料も多くありましたね。ジブリのビデオやら、ワンピース名言集やら。

実は、NFで講義がないときも開館していますよね。
NFを見て回る途中で、喧噪から離れたくなって立ち寄らせていただいた思い出があります。

¹画像は理学部中央図書室のマスコットキャラクター トリガー君。公式 twitter のアイコンより。
<https://mobile.twitter.com/kuscilib>

²画像は吉田南図書館名物の、入口に設置されているボード (2021年の創立記念日前日のもの)。公式 twitter より。
<https://mobile.twitter.com/yoshidasouthlib>

附属図書館³にも、よくお世話になりました。

建物が立派すぎて、初めて利用したときは、とんでもなく緊張しました。

土日も空いているのは感謝なのですが、なかなか空いている席がないというのが悩みどころでしたね。



逆に、数学教室の図書室⁴へは、あまり通いませんでした。

専門書が充実していることは確かなのですが、あまりに専門的すぎて何を読めばいいか分かりませんでした。

開室時間が限られていて利便性の面でも、好きになれませんでした。

卒業した今となっては、非常に勿体無いことをしたと悔やまれます。

京都大学には、40, 50もの図書室があるそうです。

自分の知る図書室は、ほんのわずかですが、

とても豊かな空間であったと信ずるばかりです。

³画像は附属図書館のマスコットキャラクター クラちゃんとインちゃん。公式サイトより。 <https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/mainlib/about/character>

⁴数学教室の図書室の画像は見つけられなかった... 大衆に迎合しない様は、さすが専門に特化した施設である。